

～一人ひとりを大切に～

戸田ゆき子の ニューズレター



2009.4.20. No.4

発行 戸田ゆき子とともに市政を考える会
〒284-0001 四街道市大日160-27
E-mail yukiko7toda@yahoo.co.jp

TEL & FAX 043-421-3541
郵便振替 00140-0-484033

3月議会報告

2月23日～3月19日

平成21年度一般会計予算は約219億円

―前年比3億2千万円1.5%の増―

平成21年度予算（一般・特別会計）は、予算審査特別委員会での質疑を経て、全員賛成で成立しました。歳入の主なものは、本市の主な財源である市税約110億円（前年比約8千7百万円0.85%の減額）、貯金である財政調整基金から約16億円の繰り入れ、借金である市債の発行約26億円（前年比約3億2千万円増加）などです。今後の見通しとしては、市民税の伸びは期待できず、国税収入の伸びも鈍化するため地方交付税も大幅な伸びを期待する状況にないことから、財政調整基金を取り崩さざるをえない厳しい状況となっています。このような本市の財政状況をしつかりと認識し、思い切った事務事業の見直しをする一方、必要な事業については継続・拡充をはかるなどメリハリのある行政運営の取り組みを求めていきます。

介護保険料基準額を決定

本市の第4期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画は、

基本理念「すべてのひとが生涯いきいきと生活できる

まち・四街道」

計画期間 平成21年～23年の3年間。

介護保険料基準額 前期と同額の月3200円。

保険料算定にあたって準備基金4億4800万円を取り崩し、第3期計画と同額に抑え、所得段階の区分をこれまでの第6段階から第7段階に変更し弾力化を図りました。

もしもの時のセーフティネット

平成23年の高齢化率は23.9%（20,858人）、4人に1人が高齢者となると予測。健康に気をつけていても、高齢による身体の衰えは、誰もが避けられないことであり、介護保険はもしもの時のセーフティネットとして、今以上に頼りにさ



れる制度となるでしょう。必要な時に、必要なサービスが、必要な量だけ使える制度であって欲しいと思います。

一方、4月から要介護認定の基準が変更されました。実態より軽く判定され従来通りのサービスが受けられなくなる。との批判を和らげる措置を検討している様ですが、はたしてどうでしょうか。これからも、弱者・高齢者が安心して生活できる四街道市であるためにしっかりと見守っていきます。

保育所用地取得

一時保留し多角的に検討

駅南側に新設予定の保育所の用地取得は、価格面で合意に至らず、一時計画を保留し、多角的に検討することになりました。

雇用が決まらなると保育所へ入所するのが難しい。でも、子どもを預かってくれる所がなければ働きたくても働けない。そんな悪循環の中で、若いお母さんたちは、悪戦苦闘しています。行政としてこの状況をしっかりと見据えた強い奮起を求め、一日も早い取り組みが実現されるよう働きかけていきます。

改修？新設？

本市の図書館は昭和58年に建設され26年経過しました。手狭になった図書館について本市教育委員会では、平成12年に駅前前のセイコー舎跡地の中に図書館の移転新設を全員一致で決議しています。

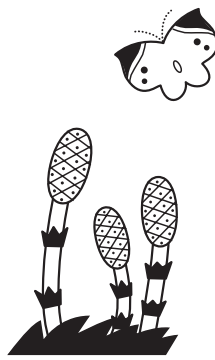
にか前市長の時センター建設にまつたという経緯があり、交流センターの話が改めて図書館の討がされなくてええます。

どうなる図書館

財政難といわはありますが、全国的に見ると直近10年間に毎年50館前後の図書館が新設されています。市民文化の基礎であり、市民の知識増強の拠点である図書館は、市民要望の高い施設であるといえましよう。

- *子どもの医療費助成拡大については、議会の決議もあり年度中に、小学校3年生まででの実施の方向
- *次期ゴミ処理施設計画については、佐倉・酒々井の組合加入が未回答につき進展みられず
- *成台中土地区画整理事業については、代行業者である平和奥田が行き詰まり、事業停滞。イオンの進出については、延期や中止はないとのこと

3月議会でわかったこと



あんな話・こんな話

駅前の千葉銀行交差点が、3月末にスクランブル信号に変わるといふ。私は車と人が交差することなく横断できるので、安全面からいいことだと思っていました。

ところが、視覚障害者の方から、「車の音で車の流れを感じ、それによって進行を決めるので、車が止まっている状態で人が横断するスクランブル信号は、車の流れが判らず、逆に危険になってしまふ。」

若い目で見た

四街道市と議会

2月〜3月の2ヶ月間、議員インターンシップとして千葉大の学生を受け入れました。私の所属する会派「四街道21」では齊藤耀一議員3名・清水真奈美議員3名と私戸田ゆき子が2名、総勢8名の学生が、本会議などの傍聴をはじめ、まじりゃりんこや福祉現場でのボランティア、ポスティング、自治会参加など議員の日常的な活動を一緒に行いました。

共に行動する中で若い感性に教えられたことまた議会に対して鋭い指摘などもあり、改めて「議会とは何？市議会議員は何をすべ

き？」と考える機会を得、私にとっても良い勉強になりました。

インターン生の皆さんの今後の活躍に期待し、次回（8月から9月）も受け入れたいと思います。

II インターン生との意見交換会とレポートからの抜粋II

四街道市議会に対する印象（8人が共通して挙げていました）

- * 議会が市民に開かれている
- * 市民の関心が高い
- * 市長と議員や市民の距離が近い
- * 議員に対する印象が変わった。

課題や問題点

- * 議会の言葉が一部わかりづらい
- * 予算書を傍聴席に持ち込めない数字がないと何を決めようとしているのかわからない

* 質問が一問一答の方が分かり易い



6月議会の予定

- 1日(月)13時 開会
 - 8日〜15日 一般質問
 - 16日〜17日 各常任委員会
 - 24日(水)13時 議案総括審議・閉会
- 〜傍聴においでください〜

戸田ゆき子と おしゃべりサロン

無料

5月30日(土)13:30~16:00
文化センター206号室

もしもシリーズ第1回

「もしも、介護が必要になったら」
介護の専門家のお話と意見交換
たくさんの方の参加をお待ちします。
どなたでも、お気軽にどうぞ!